



理学研究科生物科学専攻
生物多様性コロキウム

フタバガキ科植物における果実の羽状器官の発生と進化



講師：小林 正樹

産業技術総合研究所 ゲノム機能情報研究グループ 学振特別研究員PD

他専攻からも来聴歓迎！

日時：2016年 1月28日(木) 13:30～

場所：理学2号館315号室

種子散布は、植物にとって実生の定着や集団の組成などに影響を与える重要なイベントである。そのため、植物は多様な種子散布形式を進化させてきた。東南アジア熱帯雨林に優占する500種を超えるフタバガキ科植物は、プロペラのような羽を持つ風散布種と、羽をもたない重力散布種の二型が存在するため、我々は種子散布形質の発生、進化を考える上で一つのモデルシステムになると考えている。本コロキウムでは、フタバガキ科果実を用いた羽の発生過程の観察、および網羅的遺伝子発現解析の結果を紹介し、フタバガキ科植物における種子散布形質の発生・進化がどのように起こったのかを議論したい。

Biodiversity
Colloquium

世話人：

生物科学専攻 動物学教室

中務真人・森本直記 内線4086